

ニタリクジラ 北西太平洋

Bryde's Whale, *Balaenoptera edeni*

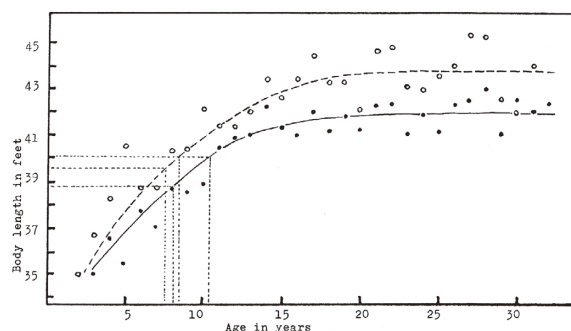


管理・関係機関

国際捕鯨委員会 (IWC)

最近一年間の動き

本種をめぐる大きな動きはない。なお、IWC 科学委員会では、北西太平洋の本種を対象とした2回目の RMP 適用試験を 2016 年より開始する予定である。



西部北太平洋系ニタリクジラの成長曲線

生物学的特性

- 寿命：約 60 歳
- 成熟開始年齢：7～10 歳
- 出産期・出産場所：冬を中心・低緯度海域
- 索餌場：中低緯度海域
- 食性：オキアミ、魚類
- 捕食者：シャチ
- その他：近年、本種を *B. brydei* と *B. edeni* の 2 種に分類する研究が報告されている。分類が確定した場合、西部北太平洋系群は *B. brydei* に相当。

漁業の特徴

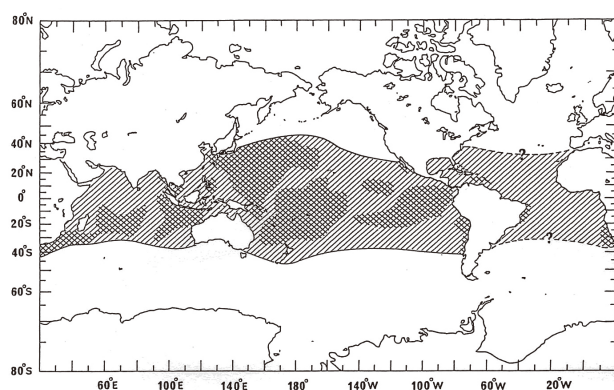
日本沿岸の近代捕鯨で本種が捕獲され始めたのは 19 世紀末で、1940 年代末に本種と識別されるまではイワシクジラと同種として扱われていた。日本の捕鯨統計では 1955 年から別個に記録され、また、ニタリクジラとしての漁業管理は 1976 年より始まった。本種の沿岸捕鯨の主漁場は三陸、小笠原諸島及び和歌山沖であった。他の漁業による混獲は少ない。

利用・用途

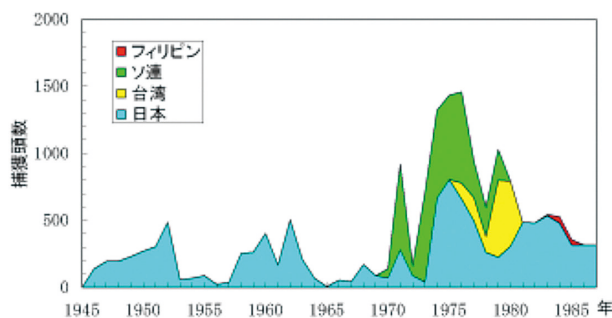
刺身、鯨油など

漁業資源の動向

西部北太平洋系群を対象とした日本の捕鯨は、沿岸捕鯨が商業捕鯨のモラトリアムへの異議申し立てを取り下げる 1987 年まで行われた。また、母船式捕鯨が 1946～1952 年及び 1971～1979 年まで実施されていた。我が国以外では、旧ソ連（母船式 1970～1979 年）、台湾（1976～1980 年）及びフィリピン（1983～1985 年）によって捕獲された。2000 年から毎年 50 頭を上限として我が国が捕獲調査を行っている。



ニタリクジラの分布域（網目は主分布域）



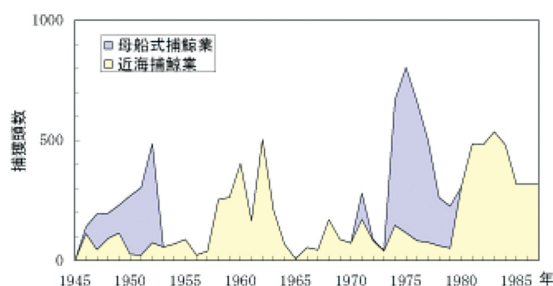
西部北太平洋系ニタリクジラの国別捕獲量の年推移

資源状態

1998～2002年の目視調査データから、2000年における西部北太平洋系群の資源量は20,501頭と推定された。また、複数年に及ぶ調査のプロセスエラーも考慮した資源量の変動係数は33.6%と推定された。1996年当時の資源水準は、成熟した雌の割合で見ると、初期資源量の60～80%となった。また、近年では増加していることが示された。この結果から、本系群の資源水準は中位から高位にあり、資源動向は増加中であると判断される。

管理方策

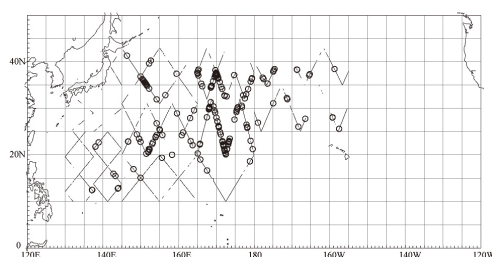
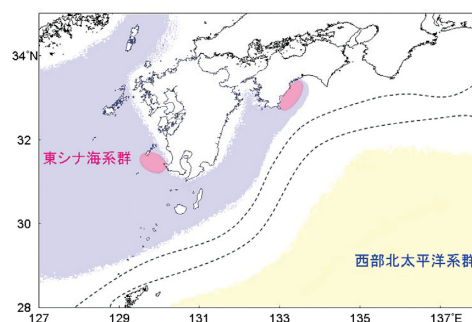
IWCの新管理方式(NMP)が1976年より北太平洋で適用され、西部北太平洋系群は初期管理資源に分類され商業的に利用されていたが、商業捕鯨モラトリウムにより1987年漁期を最後に捕獲停止となった。その後、不確実性の下でも資源を安全に管理できる数々の安全策が組み込まれた、ひげ鯨類のための改訂管理方式(RMP)が1993年に完成した。本系群については、IWCで、1996年に包括的資源評価を終え、2005～2007年にRMPの適用試験作業を実施し、3つの管理オプションと1つの調査条件付き管理オプションが了承された。また2008年には、捕獲枠算出に使用する資源量推定値が20,501頭(変動係数33.6%)として合意された。その後、日本・IWC共同北太平洋鯨類目視調査プログラム(POWER計画)などの調査によって、引き続き、本種を含む鯨類の目視データ収集等が続けられており、2016年より2回目のRMP適用試験が開始される予定である。



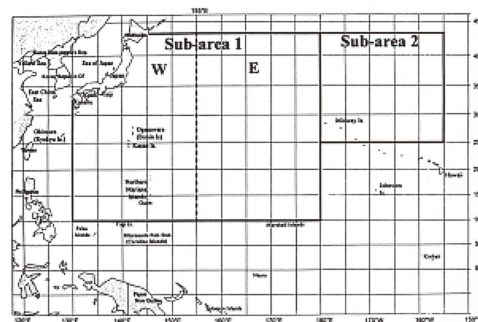
日本における西部北太平洋系ニタリクジラの漁業別捕獲量の年推移



トッパバレルを有する鯨類目視調査船

目視調査を実施した航跡と西部北太平洋系ニタリクジラの発見位置
(1998～2002年8・9月)

日本周辺におけるニタリクジラ2系群の分布



IWCによる西部北太平洋系ニタリクジラの管理海域

資源評価まとめ

- 現在資源量は20,501頭(変動係数33.6%)
- 成熟雌の割合では初期資源の60～80%と推定
- 近年増加中

資源管理方策まとめ

- 1976年にIWCの新管理方式(NMP)を適用
- 商業捕鯨モラトリウムにより1987年漁期を最後に捕獲停止
- 1993年にひげ鯨のための改訂管理方式(RMP)が完成
- 1996年にIWCは包括的資源評価を終了
- 2007年に改訂管理方式(RMP)の適用試験が終了
- 2008年にIWCは捕獲枠を算出する資源量を合意
- 2016年に再びRMP適用試験に向けたレビューが開始される予定

ニタリクジラ(北西太平洋)の
資源の現況(要約表)

資源水準	中位から高位
資源動向	増加
世界の捕獲量 (最近5年間)	なし(商業捕鯨モラトリウムが継続中)
我が国の捕獲量 (最近5年間)	捕獲調査により年間50頭